

# 不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.24 (2018.3.27)

## 平成29年度スローガン

おかげさまで140周年！新たな飛躍への一步！  
**みんなで目指す顧客感動経営**  
**Improve Customer Loyalty**  
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

55期もあと数日で終わり来月からは56期がスタートします。期初の計画には及ばないものの、おかげさまで利益を計上できる決算を迎えられる見込みです。土木部・鉄道工務部・建築部・地盤事業部は順調に受注を重ね、目標に近い売上利益を上げることができました。昨年度から秋田市でスタートしたアルプラスハウス秋田北は、最終的には完成引き渡し2物件、設計繰越が1件という結果に終わりました。当然部門としては赤字ではありますが、初年度としては想定内のものであり来期以降に繋がる先行投資と言えます。事実ほぼ月に1度開催して参りました「賢い家づくり勉強会」は継続して広告を出している効果が現れ、ここ数回は動員も好調な状況が続いております。「最高水準の断熱・気密性能とアトリ建築家の設計による他に類を見ない洗練されたデザインを手の届く価格で」というコンセプトは、時代が求める正しくも新しい住宅の形であり、今後秋田市を中心に広く受け入れられていくものと確信しております。

3月は別れの季節です。今年も羽後高校・湯沢翔北高校・稲川支援学校と3校の卒業式に出席しました。数十年前の自分の卒業式や息子たちの卒業式を思い出します。卒業生は誰もが不安と期待が入り混じった気持ちで新たな社会へと巣立っていきます。当社にも今月末で定年退職される社員の方がおります。本当に長い間頑張って頂いたものと感謝しております。今後は「会社人」を卒業した「新地域社会人」としてまた「家庭人」として有意義な人生を送って頂きたいと思っております。私自身2度転職のために退職しておりますが、両方とも円満退社で退職後も以前の上司や同僚達とは連絡を取り合い、いまだに交流が続いております。退職には人それぞれ様々な理由がありますが、私が常々考えていることは、「人間どこでどう繋がるかわからないので縁は大事にしたい」ということです。つまり会社を恨んで辞めていられるようでは縁が切れてしまうどころか、怨恨のエンが生まれてしまうだろうということです。人生には様々な出会いと別れがありますが、「小才は縁に逢って縁に気づかず、中才は縁に逢って縁を活かす、大才は袖触れ合う他生の縁もこれを活かす」という言葉があるように、縁を大事にするということはお客様との出会いに限らず大事な事だと考えます。

春はまた新たな出会いの季節でもあります。当社にも長谷山達彦さんと後藤樹さんの二名が新たに仲間として加わります。売り手市場の今の時代に当社を選んでいただいたことに感謝して歓迎したいと思います。来月から一步一步社会人としての経験を積んで成長して欲しいと願っております。

湯沢、羽後の新社会人歓迎式典  
「つながり大切に仕事」



湯沢市で羽後町の事務所に市の湯沢イールホテルで開催された新社会人歓迎式典。15事務所の新社会人が参加し、努力を重んじた。日々努力して、式典終了後、新人社員としての心構えを礼儀、マナー、マインドを学ぶ。20が社会人の自覚を持ち、人のつながりを大切に仕事に取り組み、日々努力したいと抱負を述べた。

湯沢市で羽後町の事務所に市の湯沢イールホテルで開催された新社会人歓迎式典。15事務所の新社会人が参加し、努力を重んじた。日々努力して、式典終了後、新人社員としての心構えを礼儀、マナー、マインドを学ぶ。20が社会人の自覚を持ち、人のつながりを大切に仕事に取り組み、日々努力したいと抱負を述べた。

湯沢市で羽後町の事務所に市の湯沢イールホテルで開催された新社会人歓迎式典。15事務所の新社会人が参加し、努力を重んじた。日々努力して、式典終了後、新人社員としての心構えを礼儀、マナー、マインドを学ぶ。20が社会人の自覚を持ち、人のつながりを大切に仕事に取り組み、日々努力したいと抱負を述べた。

### 安全運転管理者協会

3月9日湯沢地区安全運転管理者協会総会が開催され、役員改選により会長を退任致しました。役員として20年以上、会長として4期8年を大過なく務められたことに感謝します。なお会社の安全運転管理者は佐藤総務安全推進部

長、副安管は平良木センター長と佐藤慎也社員となりました。



### コマツ IoT センター東北

3月12日、i-Constructionの最前線の視察に数名で行って参りました。ドローンによる測量や無人のブルドーザー・女性初心者が法切りをするバックホウなど、新しい時代の土木工事の方向性を見ることができました。



### 官房長官への要望会

3月13日雄勝建設業協会役員で菅義偉内閣官房長官に地域のインフラ整備に関する要望書を提出。国会が大変な状況ではありましたが、10分程時間を取って頂きました。



